

# 令和4年度 全国教職員研修会

## 開催要項<第3報>

### <テーマ>

### 進化・深化する介護、ケアの力

### ～養成教育の持続的発展をめざして～

### <開催趣旨>

#### ○養成教育存続の危機

介護福祉士資格制度と養成教育開始から35年、介護福祉士養成施設は存続の危機に直面している。介護人材の需要増大の一方で、養成施設（課程）数は減少の一途を辿り、定員充足率も約50%に留まっている。外国人留学生の比率は年々高まり、入学者の約3分の1を占めているが、特定技能など外国人介護人材の多様化も進んでいる。養成課程を経ない高卒就職者、実務者研修による資格取得者も増加しつつあり、養成教育制度の空洞化が懸念される。

#### ○進化・深化する介護

介護施設・事業所では、ICTを活用した機器・設備の導入が進んでいる。三大介護（食事・入浴・排泄）から科学的介護へ、重度化の防止と自立支援へ、介護現場は真に自己実現を支援するケアへと進化・深化しつつある。コロナ禍でのエッセンシャルワーカーとしての評価、介護人材のすそ野拡大と処遇改善など、介護職員の働き方改革が進められ、障害者の自立支援や医療的ケア児の療育など、介護福祉士の職域拡大も期待されている。

#### ○養成教育の持続的発展をめざして

「まんじゅう型」から「富士山型」へ、介護人材の構造転換の中で、真にケアの力を備えたチームリーダーとして資質の高い介護福祉士養成への期待は高い。東海北陸ブロックの各県共同実行委員会方式による今回の研修会では、基調講演・分科会・シンポジウムを設定し、少子高齢化が進む共生社会における介護福祉士養成教育の原点を踏まえつつ、デジタル化、感染症、外国人留学生など養成教育の今日的課題について理念・内容・方法を共有して、養成教育の持続的発展へのベクトルを探ることをめざすものである。

令和4年度日本介護福祉士養成施設協会全国教職員研修会

大会長（東海北陸ブロック会副会長） 富山短期大学 学長 宮田伸朗

この研修会は、オートレースの補助を受けて開催します



## 開催案内

- <期 日> 令和4年11月17日(木) 9時30分～17時00分
- <開催方法> オンライン(ZOOM ミーティング)
- <主 催> 公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会
- <主 管> 公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 東海北陸ブロック会  
大 会 長  
東海北陸ブロック会 副会長 富山短期大学 学長 宮田 伸朗  
実行委員長  
東海北陸ブロック会 会長 中部学院大学短期大学部 吉川 杉生  
事 務 局  
東海北陸ブロック会 中部学院大学。中部学院大学短期大学部
- <後 援> 厚生労働省  
公益社団法人 日本介護福祉士会  
公益社団法人 全国老人保健施設協会  
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会  
岐阜県・富山県・静岡県・愛知県・石川県・三重県
- <参 加 費> 個人参加 2,000 円  
資料(PDF)は、参加申込みをされた方へ事前に配信用 URL をお知らせします。  
各自、ダウンロードをしてご準備をお願いいたします。

※「基調講演」、「シンポジウム」については、オンデマンド配信として、一般の方の視聴ができます。(参加費無料) 配信期間 2022 年 11 月 24 日～12 月 31 日

- <申 込 み> 方 法 : オンラインでの申し込みをお願いします。  
申込み期間 : 令和4年9月27日(火)～11月11日(金)  
申込み用 URL  
<https://forms.gle/w9mn5pYd3ghniA2dA>

申込み QR コード



## 研修会プログラム

| 時間          | 内容                                                                                                                                    |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9：30～9：50   | <b>【開会式】</b><br>主催者挨拶<br>日本介護福祉士養成施設協会 会長 澤田 豊<br>大会長挨拶<br>東海北陸ブロック会 副会長 富山短期大学 学長 宮田 伸朗<br>実行委員長挨拶<br>東海北陸ブロック会 会長 中部学院大学短期大学部 吉川 杉生 |
| 9：50～10：20  | <b>【厚生労働省報告】 行政説明</b><br>テーマ：「介護人材確保の見通しと介護福祉士養成施設の<br>持続的発展に向けた期待と支援」<br>厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長<br>今泉 愛 氏                       |
| 10：30～12：00 | <b>【基調講演】</b><br>「介護の未来を拓く ～発展するための基本条件～」<br>恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏                                                                       |
| 12：00～13：00 | 昼休憩                                                                                                                                   |
| 13：00～14：45 | <b>【分科会】</b><br>第1分科会：AI・デジタル時代に求められる ICT 活用の教育法・学習法<br>第2分科会：コロナ禍における進化・深化する感染症教育<br>第3分科会：外国人留学生の受け入れと教育                            |
| 15：00～16：30 | <b>【シンポジウム】</b><br>テーマ：進化・深化する介護、ケアの力を養成教育にどうつなげるか<br>シンポジスト 小林 宏気 氏<br>鈴木 乃 氏<br>杉田 昌平 氏<br>コーディネーター 野田 由佳里 氏                        |
| 16：30～      | <b>【閉会式】</b><br>閉会挨拶 日本介護福祉士養成施設協会<br>教育力向上委員会副委員長 白井 幸久 氏<br>次期開催地挨拶 関東信越ブロック                                                        |

## ＜厚生労働省報告＞ 9 : 50～10 : 20

◇テーマ：「介護人材確保の見通しと介護福祉士養成施設の

持続的発展に向けた期待と支援」

厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室長 今泉 愛 氏

## ＜基調講演＞ 10 : 30～12 : 00

◇テーマ：「介護の未来を拓く ～発展するための基本条件～」

恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏

### プロフィール

富山県高岡市出身。東京大学法学部卒業、厚生省（当時）入省。国立病院局長、社会・援護局長、環境省地球環境局長、総合環境政策局長、官房局長等を経て、2003年7月環境事務次官に就任、2006年9月退任。現在は、恩賜財団済生会理事長、日本障害者リハビリテーション協会会長、中国残留孤児援護基金理事長、環境福祉学会会長、富山国際大学客員教授等を務める。

## ＜第1分科会＞ 13 : 00～14 : 45

◇テーマ：AI・デジタル時代に求められる ICT 活用の教育法・学習法

### 趣旨

何度目かの人工知能（AI）ブームが起こってしばらくたつ。進化を続ける AI に対抗する能力（リテラシー）を、介護福祉養成施設はどのように身につけさせることができるだろうか。オンライン授業への転換に迫られたこの2年を経て、オンライン・対面それぞれの利点を活かしハイブリッド授業の試行錯誤がなされてきた。より柔軟に学習形態を選ぶことのできる「ハイフレックス」を含め、その授業設計・学習設計・教室環境設計に必要な工夫をふりかえり、新しいリテラシーを涵養するために、教育法・学習法における効果的な ICT 活用法を講義・ワークショップを通して学ぶ機会としたい。

### 講師

杉森 公一 氏（北陸大学 高等教育推進センター）

## <第2分科会> 13:00～14:45

### ◇テーマ：コロナ禍における進化・深化する感染症教育

#### 趣旨

新型コロナウイルス感染症の蔓延により介護福祉士養成教育においては、甚大な影響を受けており、特に介護実習において養成校として実習調整及び感染症対策や、マニュアル作成に右往左往してきた。一方、コロナ禍で浮き彫りとなったものは、人と人との本質的な関わりが重要であることは何ら変わりがなく、学生は様々な課題に対処できる力を養成教育課程で学び、習得することが求められている。本分科会で感染症教育をテーマとして設定した経緯は、学生自身の感染予防はもちろんのこと、利用者の命と暮らしを守る専門職として、状況に応じて自ら応用ができる教育内容の担保が求められているという問題意識からである。本分科会では、従前の教育内容に加え、今日的な課題解決の糸口になるよう教育の中で進化したこと、更に深化すべき内容について検討することを目的として開催する。

#### 話題提供者

川井 太加子 氏 （桃山学院大学）  
奥田 都子 氏 （静岡県立大学短期大学部）  
小沼 克典 氏 （介護老人保健施設 ユニケア岡部）

#### コーディネーター

新井恵子 氏 （静岡福祉大学）

## <第3分科会> 13:00～14:45

### ◇テーマ：外国人留学生の受け入れと教育

#### 趣旨

我が国の少子高齢化を背景に、2008年から介護分野へEPAに基づく外国人介護人材の受け入れに始まり、2017年に介護が技能実習制度の対象職種となって以降、在留資格として「介護」が創設されるなど外国人介護人材の活躍の場が広がってきている。いま養成校における留学生教育では、介護福祉士国家試験に合格し得る知識に加え、介護現場で必要な技能も求められている。第3分科会は、「外国人留学生の受け入れと教育」をテーマに行なう。介護協が実施した、外国人介護人材の学習能力向上のための学習方法等についての調査・分析結果の報告、次に国家試験において顕著な成果を出した養成校による留学生教育の取り組み報告を行う。それをもとに参加者による自由討議を経て、静岡県立大学天野先生にまとめをしていただく。卒業後、活躍の期待が寄せられている養成校在籍の外国人留学生に対する必要な支援や教育課題について検討する機会にする。

#### 話題提供者

鈴木 隆弘 氏 （田原福祉グローバル専門学校）  
品川 智則 氏 （東京YMCA医療福祉専門学校）

#### コーディネーター

天野 ゆかり 氏 （静岡県立大学）

## ◇テーマ： 進化・深化する介護、ケアの力を養成教育にどうつなげるか

### 趣旨

シンポジウムでは、研修会のテーマである「進化・深化する介護、ケアする力」を養成教育の中でどのように実現していくかを掘り下げることを企図している。具体的には、「科学的介護の推進」「介護現場への ICT 技術導入」「介護の国際化と留学生の自己実現」を柱に介護の進化・深化に目を向け、専門的見地からシンポジストの提言を受ける。その上で、介護をめぐる新しい視座が、介護福祉士養成教育そのものの進化・深化につながる可能性と方途を、総括討論で深めていきたいと考えている。

今日、介護の領域は他分野からの参入や新たな知見の導入で、その可能性を広げてきている。シンポジウムでは、その紹介だけでなく、そこで示される新しい方法・技術・視点が、人々の QOL や権利、尊厳をどのように高次で実現させるのかに目を向け、介護の新しい価値や意義を確認したいと考えている。また、そこで新たに求められる専門職としての役割、責任、社会的評価を踏まえた介護福祉士養成教育の可能性を探りたい。

### シンポジスト

小林 宏気 氏 （東京未来大学福祉保育専門学校・介護福祉科）

「ICT・介護ロボット導入で求められる介護福祉士の力や役割」

鈴木 乃<sup>だい</sup> 氏 （社会福祉法人高生会 特別養護老人ホーム 明日に架ける橋）

「認定介護福祉士の立場から LIFE を現場でどう活用していくか」

杉田 昌平 氏 （弁護士法人 Global HR Strategy）

「介護の国際化と留学生の自己実現」

### コーディネーター

野田 由佳里 氏 （聖隷クリストファー大学）

|                                          |
|------------------------------------------|
| 令和 4 年度全国教職員研修会実行委員会（◎主管校 ※令和 3 年度の実行委員） |
|------------------------------------------|

＜富山県＞ 中島真由美（富山短期大学）、岩見しのぶ（北陸ビジネス福祉専門学校）

宮嶋潔・毛利亘（富山福祉短期大学）

＜石川県＞ 山根淳子、新口春美、秋山陽子（金城大学）

＜愛知県＞ 村上逸人（同朋大学）、川村志知 ※小山サヨ子（中部福祉保育医療専門学校）

岩切忠雄（保育・介護・ビジネス名古屋専門学校）

＜三重県＞ 匹田理江（鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校）、中川千代（高田短期大学）

加藤広美（四日市福祉専門学校）

＜静岡県＞ 岩田智恵美、田中和宏 ※大野美絵（大原介護福祉専門学校沼津校）

新井恵子（静岡福祉大学）、野田由佳里（聖隷クリストファー大学）

◎＜岐阜県＞ 吉川杉生（中部学院大学短期大学部）、森田直子、山下科子（中部学院大学）

和久井愛（サンビレッジ国際医療福祉専門学校）